



# 真龍小便り

【学校の教育目標】  
 ☆心と体をきたえる子  
 ☆美しい心をもつ子  
 ☆考えて行動する子  
 ☆生き生きと学ぶ子

No.6 令和6年8月30日発行

「他人は変えられないと認識すること」＝「相手を大切にする生き方」  
 校長 斉藤 直彦

オリンピックを見ていると、残念ながら目標まで届かずに、試合を終えてしまった選手のインタビューを聞くことがあります。話す内容は、人それぞれですが、中には、「今までやってきたことに何の意味があったのか・・・」と涙を流しながら話す選手もいます。その光景を見ると、余計なお世話と思いつつも、「そんなことないよ。努力に無駄なことは一つもないよ。」などと、口に出しては言わないまでも、心の中で考えてしまいます。

プロ野球選手の思いがネットニュースなどに時々話題に上ります。「**打てない自分に対して、心無い言葉が SNS に書き込まれている。**」という事実があるようです。その際の私の心の中は、「その選手にヒット 1 本出なかったために、勝てたかもしれない試合を落としてしまえば、熱心に応援すればするほど、残念に思う気持ちが高まってしまふのはわかる。でも、だからと言って、人に伝えていい言葉と、伝えてはいけない言葉があるでしょう。」と、怒りに似た感情が沸き上がります。

叱咤激励（しったげきれい）という言葉があります。意味は、「大声で叱るように励まし、奮い立たせること」です。プロ野球選手の SNS に心無い言葉を書き込む人は、叱咤激励でもしているつもりなののでしょうか。私からみれば、そのような言葉は叱咤でも激励でもなく、単なる誹謗中傷でしかないと思っています。確かに、そのチームを思う「情熱」でそのような言葉を書き込んでいるのかもしれませんが、その行動は「**謙虚さのない情熱はただの押し付け**」だと、私は思っています。ましてや、そのような書き込みをすれば、その選手はヒットを打てるようになるのも思っているのでしょうか。だとすれば、謙虚さのかけらもないばかりか、「**他人を変えることができる**」と思込んでいるとしか思えません。

以前の学校だよりに書きましたが、「**他人は変えられない**」ものです。他人を変えようと努力するのではなく、**自分の他人への考え方、捉え方を変える方がよっぽど効率的で理にかなっています。**「他人を変えられる」と思込んでしまうと、前述のような「書き込み」をしてしまい、他人を「攻撃」する生き方につながってしまいます。その生き方は、自分を大切にしているつもりかもしれませんが、他人（相手）を大切にしていない生き方です。

「結果」には、必ず「プロセス」があります。**一生懸命頑張ったプロセスであればあるほど、結果が思い通りにいかない時の悔しさは計り知れないものがある**と思います。それは、プロのスポーツ選手やオリンピックに出場する選手だけの話ではなく、私たちも、子ども達も、みんな同じように、プロセスがあって結果があります。もし、子ども達がうまくいかないことがあって気持ちが下がっているようであれば、**私たちは、子どもの「プロセスを尊重」して、「解決志向」で関わっていきます。**

**自分のプロセスも大切に、相手のプロセスも大切にできる生き方**は、いつの時代も大切にしていくことが大事なんだろうなあ、と、ニュースなどを見ていると感じます。

日	曜	9月の主な行事
1	日	
2	月	講話朝会 参観日（全学年） 給食試食会（1・4年）
3	火	短縮日課 社会見学2年（消防署）
4	水	芸術鑑賞（全学年）児童委員会⑦
5	木	短縮日課 5年宿泊研修1日目
6	金	短縮日課5年宿泊研修2日目
7	土	
8	日	
9	月	短縮日課4時間授業（全学年）
10	火	短縮日課 避難訓練（火災） 食育授業（3・4年）給食試食会（3年）
11	水	児童朝会 1年牧場見学
12	木	短縮日課
13	金	短縮日課
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	短縮日課 避難訓練予備日
18	水	クラブ
19	木	短縮日課 中休み読み聞かせ（2年） 人権教室（5年）
20	金	短縮日課 遠足
21	土	
22	日	秋分の日
23	月	振替休日
24	火	短縮日課
25	水	放課後学習 PTA 役員会
26	木	短縮日課
27	金	通常日課 前期終業式（朝会） 就学時スクリーニング検査
28	土	
29	日	
30	月	後期始業式（朝会）

**9月の帰宅時刻 17:00**  
 この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。  
 児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

## 熱中症に気をつけよう！～真龍小の熱中症対策とご協力をお願い～

ここ最近の夏は、例年以上に暑さが厳しく、熱中症にかかる子ども達の数が全国的に増加しています。子どもは大人に比べて体温が高まりやすく、汗をかく量が多いため、熱中症にかかりやすいです。真龍小学校では、子ども達の安全を第一に考え、熱中症対策として以下の取組を行っています。

### ・暑さ指数の活用

養護教諭が中心になって、各教室や体育館、運動場など敷地内数か所の暑さ指数(WBGT)を毎日こまめに計測しています。この数値をもとに、体育や校外学習の実施の判断を行っています。また、休み時間前には外で遊ぶ子ども達に向けて、遊びに夢中になって激しく動きすぎないように、校内放送で注意喚起を行っています。

### ・水分補給の徹底

子ども達には、喉がかわいてなくてもこまめに水を飲むように声かけしています。水筒を持参している場合は、常に手元に置き、授業中でも水分補給ができるように指導しています。

### ・冷房器具の整備

今年度より、町内各校に一基ずつクーラーが配備されました。本校では保健室に設置し、体調不良の子ども達がより良い環境の中で安静にできるようにしています。また、機能は限定的ですが持ち運びができるスポットクーラーも2台配備されました。学習の特性上、密閉状態になりやすい音楽室に設置して活用しています。

学校での取組だけではなく、ご家庭でのご協力も不可欠です。以下の点にご協力をお願いします。

- ①服装：通気性の良い服装を選び、登下校は帽子を着用させましょう。
- ②食事と睡眠：バランスの取れた食事と、十分な睡眠時間が取れるように心がけましょう。
- ③体調管理：お子さんの体調に気を配り、少しでもおかしいと感じたら、無理をさせないようにしましょう。

9月に入りますが、予報では今年も残暑が厳しいようです。今後も、子ども達が元気に学校生活を送れるように、全力を尽くしてまいります。保護者の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

## Welcome to Akkeshi! ショーン先生

8月より新たなALTが着任いたしました。スコット・ショーン先生で、アメリカ出身の方です。今回が2回目の来日で、日本語はとてもお上手です。着任式では、子ども達のためにわかりやすく日本語で挨拶をしてくださいました。主に月・水曜日、外国語の学習でサポートしていただきます。ショーン先生、宜しくお願いします！



## 夏休み作品展

8月20～27日の期間、夏休み作品展が行われました。材料に工夫が見られる工作や、詳細なデータに基づいてまとめられた自由研究等、子ども達の豊かな創造性にあふれていました。休み時間には、多くの子ども達が1階ホールに集まり、個性豊かな作品の数々に目を輝かせていました。夏休み期間中は、各ご家庭でも材料集めを手伝ったり、アドバイスをしたりと、子ども達のがんばりを温かく見守ってくださったことと思います。ご協力、ありがとうございました。

## ふるさと教育～3年生厚岸かぐら～

ふるさと教育の一環として、3年生では総合的な学習で厚岸町の伝統文化である厚岸かぐらについて学んでいます。厚岸かぐらは、江戸時代から伝わる町の貴重な文化財です。本校は、町から伝承校の指定を受けています。海事記念館の学芸員や厚岸かぐら保存会の皆様を講師にお招きし、厚岸かぐらの歴史や踊り方についてご指導いただいています。9月2日の参観日には、練習の成果を保護者の皆様に披露する予定です。

教育委員会より、「子どもの『香害』および環境過敏症状に関する実態調査」への協力依頼がありました。本日、アンケート用紙を配付しております。回答へのご協力をお願いします。

## 真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『しょうぼうじどうしゃじぶた』  
渡辺 茂男/さく 山本忠敬/え (福音館書店)

真龍おはなし隊 運上 亜沙美

ある町のしょうぼうしょには、はしごしゃののっぼくんと、こうあつしゃのぱんぷくんと、きゅうきゅうしゃのいちもくさんと、ちびっこしょうぼうしゃのじぶたがいました。

高いところまでいけるのっぼくんと、つよい水で火を消すぱんぷくんと、けが人を運ぶいちもくさんはまちの子どもたちに大人気でしたが、ちいさなじぶたのことは誰も気にかけてませんでした。毎日バカにされてかなしくなっていたじぶたですが、ある日山火事がおこり・・・

この本は「皆それぞれいい所があるんだよ」という事を教えてくれる絵本です。

自分に簡単に出来ることが、他の人には難しいからと言ってバカにしたり、自分はすごいんだぞ、と思う人もいるかもしれません。

でも、他の人には簡単なことでも、自分には難しいことがあるかもしれない。人それぞれ、得意なことは違います。助け合い、認め合うことの大切さをこの本で感じて欲しいなと思います

※学校図書館、厚岸情報館に所蔵があります。

